

エクセルの「セルの書式設定」にあるユーザー定義の解説 （時刻編）

エクセルには「セルの書式設定」があり、同じ時刻の表示でも異なる表示形式で表示できるようになっています。表示形式には、すでに組み込まれていて選択するだけで使用できるものがあり、日常的に使用する場合は十分ですが、選択対象にない場合には「ユーザー定義」として自分で「記号」のようなものを入力して表示形式を設定もできます。この記号を「書式記号」といい、書式記号ごとに「何を表すのか」「何を表示させるのか」が決められており、書式記号の組み合わせで細かな表示形式の設定ができるようになっています。この組み合わせを「表示形式コード」といいます。

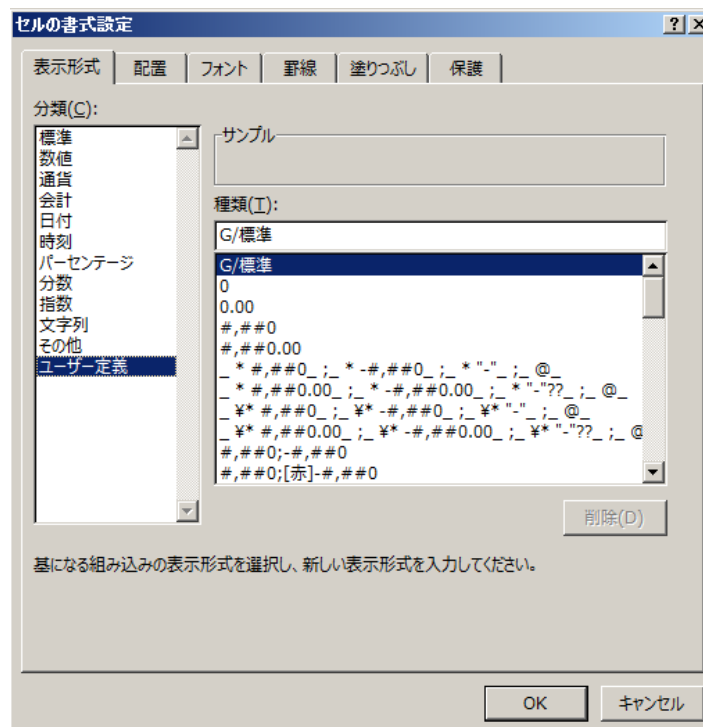
エクセルでは時刻を日付を扱う『シリアル値』の1未満の数字を使っています。

例

『シリアル値』 「0.5」 の時刻は「12時（正午）」です。

ユーザー定義を設定する画面を表示する方法

1. ユーザー定義を設定するセルまたはセル範囲を選択します。
2. [ホーム] タブの [セル] グループにある [書式] をクリックします。
表示されたメニューの [セルの書式設定] をクリックすると [セルの書式設定] ダイアグラムが表示されます。
又は、選択したセルまたはセル範囲内で右クリックして表示されたメニューの [セルの書式設定] をクリックすると [セルの書式設定] ダイアグラムが表示されます。
3. [セルの書式設定] ダイアグラムの [表示形式] タブをクリックして [分類] の [ユーザー定義] をクリックすると右側にユーザー定義を設定する画面が表示されます。



「ユーザー定義」で時刻に使用できる主な書式記号

0. エクセルであらかじめ準備されている時刻の表示

*13:30:55

13:30

1:30 PM

13:30:50

1:30:55 PM

2019/8/1 1:30 PM

2019/8/1 13:30

13 時 30 分

13 時 30 分 55 秒

1. 原則

- ①時刻を入力するときは必ず時・分・秒の順で区切りに「: (コロン)」を記入します。
時のみの入力にも数字の後に「: (コロン)」を付けます。
- ②時刻の書式記号は、時は Hour の「h」、分は Minute の「m」秒は Second の「s」の記号で表します。
- ③表示する桁数は、時・分・秒ともに1文字で1桁又は2桁、2文字で2桁の表示になります。
- ④「h」、「s」は単独で使用できそれぞれ時、秒が表示されますが、「m」は単独では分の表示に使用できません。「m」単独では月を表示することになります。
- ⑤「h」、「m」、「s」は組み合わせても使用でき、使用した書式記号による表示内容が入力した順に表示されます。たとえば「13 時 30 分 50 秒」を「s:h」の表示形式コードを入力して表示すると「50:13」と表示されます。ただし、「m」は「h」の右か「s」の左になければいけません。

2. 13 時 30 分 50 秒を各表示形式コードで時刻を表示する

表示形式コード	実際の表示
h	13
hh	13
s	50
ss	50
h:m	13:30
m:s	30:50
h:mm:ss	13:30:50
h:mm:ss AM/PM	1:30:50 PM

3. 8 時 5 分 5 秒を各表示形式コードで時刻を表示する

表示形式コード	実際の表示
h	8
hh	08
s	5

ss	05
h:m	8:5
m:s	5:5
h:mm:ss	8:05:05
h:mm:ss AM/PM	8:05:05 AM

4. 日付と時刻を同時に表示する

日付 時刻	表示形式コード	実際の表示
2019/8/1 8:5:5	yyyy/mm/dd h:mm:ss	2019/08/01 8:05:05
43678.336863	yyyy/mm/dd h:mm:ss	2019/08/01 8:05:05

5. 24 時間、60 分、60 秒を超える表示

時刻の 8 時は、時刻 0 時から 8 時間たったときと考えると、エクセルでは時間は時刻と同様に 1 未満の数値としての取り扱いができることがわかります。このことからエクセルで時間を計算することができることがわかります。しかし、時刻にはマイナスがないように時間の計算結果にもマイナスはありません。また、時間は 23 まで、分は 59 まで秒は 59 までとそれぞれ最大値がありますので、上記の 2. 3. の表示形式コードを使用する限り、表示もその最大値を超えることはありません。

一方、1 か月の勤務時間の計算をした場合などその結果が最大値 23 時間を超えることは日常的にあります。このとき表示ができないのでは時間が絡んだ計算はエクセルではできないこととなりますが、最大値を超えても表示ができる方法があります。

書式記号として[h]、[m]、[s]を使います。

時・分・秒	表示形式コード	実際の表示
25:30	h:mm	1:30
25:30	[h]:mm	25:30
1:15:30	m:ss	15:30
1:15:30	[m];ss	75:30
1:15:30	[m]	75
1:15:30	[s]	4530